

ごみゅにけーしょん

Gommunication みんなに話したくなる みんなと始める 事業ごみ減量ニュースレター

その紙, 捨てないで!

「資源となる紙」が、燃やすごみの中に約18%入っています。その多くが、チラシやパンフレット、封筒、包装紙などの「雑がみ」です。まだ認知度が低い「雑がみ」の分別回収。一つの事業所では排出量が少ない場合でも、共同回収という方法もあります。リサイクルできる紙、捨てていませんか?

※データは H24.3 京都市環境政策局調査から

出る量が少なくてもリサイクルできます。

分別するとごみも減るね!

雑がみはリサイクルしよう!

これだけしか出ないけどリサイクルできるの?

みんなで持ち寄って共同回収!

燃やすごみ

収集料金を減るかも???

古紙の共同回収を知っていますか?

現場訪問!

「簡単に紙は捨てない!」 古紙共同回収でごみ減量

今回の現場はこちら!

京都三条会商店街

約180もの店舗が軒を連ねる京都で一番長い商店街。堀川通から千本通まで約800mに及ぶ。事業ごみの減量やリサイクルを積極的に取り組んでいる。



京都三条会商店街
雑がみ・段ボール共同回収場所

一つ一つの事業所は小さくても、商店街で集まれば大きな力に!
京都三条会商店街の事業ごみ減量&リサイクル実践!!

① 見えるごみ減量

「これまで捨てていた雑がみのリサイクルをすることで、ごみが軽くなりました。」と、三条会商店街振興組合 専務理事の村元さん。パンフレットやティッシュの箱などの多さに改めて気づかれたそうです。

思っていたより雑がみの量は多いんだね!

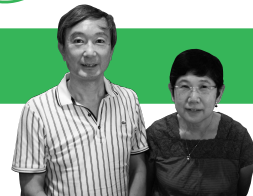
② 回収費用の軽減

古紙の共同回収は、回収業者の運搬費用を削減できます。一つの事業所や店舗では少量の場合でも、共同回収により回収の相談が可能となる場合も。



③ 地域コミュニティの活性化

「近隣の方々とも雑がみの多さなど、ごみの話題が出てくるようになりました。」と、専務理事の奥様。ごみ減量だけでなく、近隣店舗の方々との交流の深まりも実感されています。



三条会商店街振興組合専務理事村元ご夫妻

回収は許可業者や資源回収業者へ!



新聞・雑誌・段ボール・雑がみなどのリサイクルについて、詳しくは許可業者や資源回収業者に相談してください!

三条会商店街の雑がみを集めています!

株式会社立川清掃

「雑がみは重たいため、分別を始めると燃やすごみの重量が減り、ごみは少なくなっていますよ。」と代表の立川さん。今後のごみの減量への効果に期待です。



ごみ削減に役立つ豆知識

ごみゅにけーしょん

Q&A

事業ごみで一番多いよ

① 事業ごみの中に含まれている発生抑制が可能な「生ごみ」は、どのくらいの割合を占めるでしょう?

- ① 20%
- ② 30%
- ③ 50%

※答えは裏面の下にあります。



レポート

回収された古紙のゆくえ

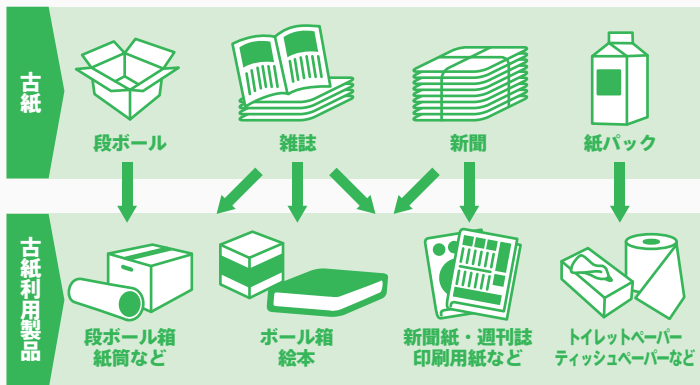
古紙回収施設 (関西紙料株式会社)へ行ってきました!



事業所から出る古紙は、どのようにリサイクルされているの?

「段ボール、新聞、雑誌、紙パック」などに分別して出された古紙は、許可業者や資源回収業者により、民間の古紙回収施設に運ばれます。集められた古紙は、ビニールなどの異物を手作業で取り除き、種類別に約1トンのかたまりに圧縮され、製紙会社へ運ばれて新たな製品に生まれ変わります。

リサイクルされたら何になるの?



様々な製品に生まれ変わる古紙ですが、貴重な資源として有効に活用するためには、分別が必要不可欠です。例えば、新聞の中に背のりの付いた雑誌が混ざっていると、品質が落ちてしまうそうです。お仕事されている皆さんがわかりやすい、分別する場所づくりもポイントですね。

貴重な紙資源を活かして、ごみ減量!

「私たちは環境を守る企業として、不要となった紙に、新しい命を吹き込むことを仕事としています。量にかかわらずお持ち込みいただければ引き取らせていただきます。」と、関西紙料株式会社澤田社長。貴重な紙資源ですが、ごみ袋に入れて捨ててしまうと、税金をかけて燃やすことになります。紙をリサイクルするためには、各事業所における分別の徹底と許可業者や資源回収業者による効率的な回収が必要です。機密文書でも情報をもらさずにリサイクルできます。資源を守ることはもちろんのこと、燃やすごみの減量にもつながります。ぜひ古紙の分別を実践しましょう。



関西紙料株式会社 澤田社長

京都環境事業協同組合から

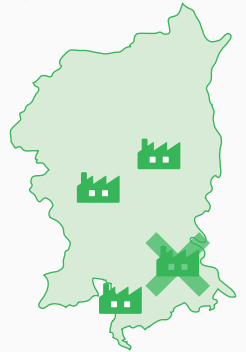
事業ごみ収集のご相談は当組合まで。
 「京都市推奨事業系ごみ袋 (透明袋)」も販売しています!
 ★お客様相談窓口を開設しましたので、ぜひご利用ください!
相談窓口 Tel. 691-5517 [受付時間 月~金 13:00 ~ 17:00]



とぴくす

東部クリーンセンターの休止について

伏見区石田にある東部クリーンセンターは、昭和55年9月の稼働開始以来、主に醍醐・山科地域のごみを焼却してきましたが、事業ごみを含めた近年のごみ焼却量の減少や施設の耐用年数を迎えることから、来年3月末までに稼働を休止することになりました。この結果、新たな建替え経費約400億円と同クリーンセンターの年間運営費約8億円が削減できる見込みです。



皆さんのごみを減らす小さな一歩が、大きな財政効果を生み出します。これからも、「へらす」「わける」を実践し、ごみ減量に向けた取組をお願いします。

コラム 京の知恵

京都の伝統文化に育まれた知恵を、次代を担う文化人がコラムにてご紹介!

富田 陸海 (富田工藝3代目/京仏師・仏具彫刻師)

我々の重要な仕事の一つに先代が造り上げた仏像などを後世に残すお手伝い「修復」があります。当然、後世に残そうというにはそれなりの理由があります。今回は自分なりにその理由について考えてみました。我々は自分たちが彫る仏像や仏具に対して勿論「気持ち」を込めます。しかし、言葉で気持ちを込めると言うことは簡単ですが、では「どのような気持ちを込める?」と質問されると、正直考えてしまいます。しかし、今はある経験からそこには自信を持って「愛着」ですと私は答えます。私は現在、一般の方々を対象にお地蔵様を彫ってもらい、それを被災者に贈るという「わらべ地蔵を被災地へ」という活動をしております。これまで約50の寺院で全国約1800人の方々にご参加頂きました。その中で見つけた答えがその愛着です。慣れない道具で何時間もかけて彫ったものには皆さん愛着が生まれ、最後は手放したくなくなる。しかし、それをご提供頂き被災者の方々にお渡しすると、上手下手など関係なく本当に喜ばれ、時には涙を流される方もおられます。気持ちが込もっているもの、それはいわゆる「お気に入り」とも言います。造り手として気持ちが伝わるものを造れば、お気に入りにつながる。そうすれば自然とごみも減っていくのでは。そう思って頂けるものを造れるようにこれからも日々精進。



富田 陸海 (とみた りくみ) プロフィール: 1978年生まれ。京都市出身。高校卒業後、父・富田満に師事。修行と並行し、花園大学に入学して、仏教学を学ぶ。2004年兄・珠雲と共に東山五条にギャラリー兼工房を構え、各寺院などの仏像・仏具製作・修復に従事。黄檗宗大本山・萬福寺開創350年記念徳元騎獅像制作。

ごみゅにけーしょんQ&Aの答え: 50%

売れ残りを出さないことや、水切りの徹底がごみの減量につながります。*データは H24.3 京都市環境政策局調査から

次号は生ごみを特集するよ!

